

日常を、
少しでも特別にする17音。

すかがわ

俳句検定

2026

「俳句のまち須賀川」に関する

問題全二十問に挑戦！

たくさんのご参加を

お待ちしております。



左記QRコードを読み込んで
ご参加ください

すかがわ俳句検定 🔍

募集期間

2026
8/19 (水) ▶ 10/9 (金)

全問正解者 には・・・

「すかがわ俳句検定2026合格証」を授与！

さらに、抽選で10名に景品をプレゼントいたします

※8月19日は俳句の日、10月9日は等躬(須賀川の俳人)の日の語呂合わせで設定しました。

【注意事項】

- 応募者の個人情報については、本検定に関することに限り使用します。
- 問題の正解は、募集期間終了後、市公式ホームページで公開します。
- 当選者の発表は、景品の発送をもってかえさせていただきます。
- 抽選結果に関するお問い合わせには、応じられませんのでご了承ください。
- 本検定の詳細は、市公式ホームページをご確認ください。

お問い合わせ

須賀川市文化振興課 Tel0248-88-9172(平日・AM9:00~PM5:00)

ふたつの 須賀川の伝統行事が季語に

松明あかし

毎年11月の第2土曜日に、翠ヶ丘公園五老山で行われる鎮魂の行事です。戦国時代、伊達政宗に攻め込まれた須賀川城主である二階堂家の家臣と領民が、城を守るために松明を手に丘に集まったのが起源です。

高さ10メートルに及ぶ大松明約30本に次々点火されると、山は火の海となり、初冬の夜空を焦がします。

平成30年に、俳句結社「桔槔吟社」の長年の運動が実を結び、冬の季語として俳句歳時記に収載されました。

—— 季語「松明あかし」が詠まれた句 ——

松明あかし果て真つ白な月残る 永瀬十悟



牡丹焚火

毎年11月の第3土曜日に国指定名勝「須賀川の牡丹園」において、天寿を全うした牡丹の古木や折れた木を供養する行事です。

夕闇の中に、ほのかな香りを漂わせながら燃え上がる優しい焰は、幻想的な雰囲気醸し出します。

昭和53年に、冬の季語として俳句歳時記に収載され、多くの俳句にも詠まれています。

—— 季語「牡丹焚火」が詠まれた句 ——

北斗祭るかむなき心牡丹焚く 柳沼破籠子



地方都市に2つの季語の行事があるのは全国的にも珍しいことです。

＼ 須賀川市の魅力を発信中！ ／

下記のホームページやSNSでは、須賀川の伝統行事や、季節ごとの楽しいイベント情報を随時発信しています。是非ご覧いただき、フォローや友だち登録をお願いします。

風流のはじめ館
公式ホームページ



文化振興課公式
Instagram



友だち登録をお願いします！

須賀川市
公式LINE

